

第3回 JYMA 選抜 大学対抗&U23 ヨットマッチレース in 日産マリーナ東海 2014
 JYMA Youth National Championship U23

レース公示(Ver.1.2)
 NOR

1 主催団体等

本大会は日本ヨットマッチレース協会(JYMA)と日産マリーナ東海が共同主催する。

本大会は下記の団体の後援・協賛・協力のもとに開催する。

・後援: 日本セーリング連盟(JSAF) 承認番号 H25-44

・協賛: 富士ゼロックス株式会社 株式会社日産マリーナ東海 セール湘南 紀州ヨット少年団
 エスメラルダ 祖国丸 シエスタ 月光 サマーガール 翔洋 …etc.

・協力: JSAFキールポート強化委員会 JSAF 外洋東海 愛知県ヨット連盟 中部学生ヨット連盟 三崎マリン 志摩ヨットハーバー
 ベーシックシステム セイルス・バイ・ワッツ・ジャパン/ Quantum Sails ノースセール・ジャパン J.F.P/KANTA-RO
 HARKENJAPAN SAILRACING FITNESS APOLLO JAPAN HOOD 伊藝ヨットサービス

2 開催地

開催地は愛知県三河湾である。レース本部は日産マリーナ東海内に設置される。

日産マリーナ東海: 愛知県西尾市東幡豆町緑ヶ崎1 Tel 0563-62-4511

3 イベント・グレーディング

本大会は ISAF グレード3として申請している。このグレーディングは ISAF Match Racing Ranking Sub Committee による再検討の課題となる。本大会のグレードは変更されることがある。また本大会は JYMA イベントグレード係数 1.5 の大会である。

4 予定プログラム

4.1 日程: 2014年3月14日(金)~16日(日)の3日間 ……参加チームが9チーム以下の場合は3/15~16の2日間とする。

- Day1 8:00 受付/体重測定(乗員4名~5名、合計体重 350kg 以下) 開始
 完了次第(目安 9:00 頃から)スキッパーズミーティング
- 9:30 レース艇ドックアウト
- 10:30 第1マッチ注意信号
- 18:00 帰着完了(名古屋港日没 18:00) 夕食(カレーライス&サラダバー)
- 18:30 アンパイア・ブリーフィング & 翌日のスキッパーズミーティング 20:30 終了予定
- Day2 8:30 レース艇ドックアウト
- 9:00 Day2 最初マッチの注意信号発令
- 18:30 アンパイア・ブリーフィング & 翌日のスキッパーズミーティング
- 19:00 パーティ 20:30 終了予定
- Day3 8:30 レース艇ドックアウト
- 9:00 Day3 最初マッチの注意信号発令
- 16:30 アンパイア・ブリーフィング、表彰式
- 17:00 解散

4.2 実行委員会により許された場合を除いて、以下の行事に出席することは義務である。

- (a) スキッパーは毎日のスキッパーズミーティングとアンパイア・ブリーフィング。(本大会ではクルーの出席も推奨する。)
- (b) スキッパーとクルーはパーティと表彰式

4.3 天候等の事情により 4.1 の日程で大会が開催できなかった場合、本大会は中止する。

中止の告知は、参加申し込みの際に使用されたメールアドレスに対してイベント担当者より連絡する。

5. スキッパーの参加資格

(a) 招待出場数は 12 チームを予定している。

実行委員会に招待されたスキッパーのみが本大会に参加する資格がある。

招待基準は以下の通りである。

- ① 大会シード2枠: 『和歌山大学』『関西大学』
- ② 2013 年 全日本インカレ上位6枠: 総合1~4位、総合との重複除く各種目1位 (MAX 6校)
- ③ 外洋帆走学連代表1枠: 『神戸大学』(2013 年 3 月 アニオールズカップ優勝チーム)
- ④ ホームポート代表1枠: 中部学連による選抜チーム
- ⑤ 公募2枠以上: インビテーション・リクエストから選定する。上記①~④に辞退があった場合はこの枠を広げる。

(b) ①~④のスキッパーは大学入学後4年以内の大学生であること。(全日本学連規約と同じ、よって U23 の制約を受けない。)

(c) ⑤のスキッパーは U23(大会開催月末で満 23 歳未満)であること。

(d) ①~④の招待状を得たチームのスキッパーは招待受諾書を 11月20日までに大会実行委員会に提示しなければならない。

招待受諾書の提出がない場合は辞退したものとみなす。(注: 参加料の納入期限は 11 月 30 日)

(e) 一般公募はインビテーション・リクエストを提出したスキッパーの中から大会実行委員会で選出して JYMA 会長の許諾を得て招待状を送付する。インビテーション・リクエストの受付期間は 11 月 5 日から 30 日まで。(参加料の納入期限は 12 月 10 日)

(f) 受付時に登録したスキッパーは非常の場合を除き、レース中は常に艇の舵をとっていなければならない。

(g) すべての競技者(クルー含む)は、2014 年の有効な JYMA 会員資格を取得していなければならない。

2014 年 JYMA ユース年会費はスキッパー、クルー種別なく一律に 3,000 円。本大会で得た JYMA 会員資格は 2014 年 12 月 31 日まで有効。(ちなみに、JYMA スキッパー年会費は 20,000 円、クルー会費は 10,000 円ですので、とてもリーズナブルです。) ユース年会費対象者は入会時 U23、若しくは大学入学後 4 年以内の学生。(OB クルーの JYMA 年会費は 10,000 円となります。) 2014 年 1 月 1 日以降に JYMA ホームページで会員登録し、2014 年 1 月 1 日以降に会費を指定銀行口座に振り込むこと。

(h) すべての競技者(クルー含む)は、2013 年度の有効な JSAF 会員資格(有効期間は毎年 3 月 31 日まで)を取得していなければならない。

(i) スキッパーは I SAF セイラー ID を取得しなければならない。これは www.sailing.org/isafsailor から無料でオンライン登録できる。

(j) 外国籍を有するスキッパー、クルーは有効なナショナル・オーソリティの資格を証明できれば(g)(h)の要請は免除される。

注: 大会開初日の受付時に会員資格の手続きは行わない。各自で、事前に登録、入金を行うこと。

6. 参加

大会実行委員会より e-Mail にて招待状を発送する。

6.1 スキッパーは、大会当日の受付時にチームのクルーリストを提出し体重測定を行い、チーム全員の JSAF 会員証を提示し、すべての費用の支払いを証明して本大会に参加すること。JYMA 会員資格は主催者側が受付時にチェックする。(JYMA は会員カードを廃止している)

6.2 参加料とパーティ費

(a) 参加料(競技艇使用料・船体保険含む)は 1 チーム6万円である。

(b) 招待状を受け取り、受諾したスキッパーは、11月30日までに下記の銀行口座に参加料の一部4万円を振込まなければならない。

(c) インビテーション・リクエストにより出場するスキッパーは、12月 10 日までに下記の銀行口座に参加料の一部4万円を振込まなければならない。

(d) 納入された参加料は、原則として返金されない。

(e) 全てのスキッパーは参加料の残金とパーティ費を 2 月末までに振り込まなければならない。

(f) 初日の夕食と 2 日目のパーティ費は合計 5,000 円/人である。

【参加料振り込み先口座】下記は JYMA 学生マッチ専用口座

三菱東京UFJ銀行 南藤沢支店(732)

普通口座 0040823 日本ヨットマッチレース協会

注: JYMA 年会費の振り込み口座番号は 0023391 です。お間違いのないようご注意ください。

- 6.3 ダメージ・デポジット(通常、チャータ艇によるマッチレースではダメージデポジットを徴集するので後学の為、記載。本大会は徴集しない。)
- (a) 最初のダメージ・デポジット〇万円は参加料とともに支払わなければならない。このデポジット額は、1 事故の結果、スキッパーが支払わなければならない最大額ではない。ただし、本NOR、もしくはSIIにて別段の定めがある場合はその規定が優先するものとする。
 - (b) 実行委員会の決定によりダメージ・デポジットから差引を行う場合、ダメージ・デポジットが元の金額まで充当回復されなければ、スキッパーはレースを続けることを許されないことがある。
 - (c) ダメージ・デポジットが充当されるダメージ、およびその他の損害賠償については 17 項によるものとする。
 - (d) ダメージ・デポジットの残額は、できるだけ大会終了時に、又は遅くとも大会終了後 3 週間以内に返却される。

6.4 大会が中止された場合の参加料とダメージ・デポジットの取り扱い

- (a) 3月 13 日 16時までに大会を中止した場合：参加料と、ダメージ・デポジットは全額返却する。
- (b) 3月 13 日 16時以降に大会を中止した場合：参加料を原則返却しない。ダメージ・デポジットは全額返却する。

7. ルール

- (a) 本大会は「セーリング競技規則」(RRS)に定義された規則を適用する。これには付則 C を含む。
- (b) SI アペンディックス C (ハンドリング・オブ・ボーツ)はすべての練習中にも適用する。
- (c) ナショナル・オーソリティ規定は適用しない。
- (d) クラス・ルールは適用しない。
- (e) 本レース公示と帆走指示書との間で矛盾が生じた場合には帆走指示書(S I)を優先する。

8. 競技艇とセイル

- (a) 本大会はJ/24**タイプ**艇を使用する。
- (b) 6 艇の競技艇を用意する。
- (c) 競技艇には各々、以下のセイルを用意する。メインセール1枚、ジブ1枚、スピネーカー1枚。
- (d) 競技艇はレース委員会の判断により毎日もしくはステージごとに、抽選によって割り当てられる。

9. 乗員(スキッパーを含む)

- (a) 乗員の内、少なくとも1名は開催地でJ/24 を動かせる船舶免許を所持して、その艇の航行に責任を持たねばならない。
- (b) 招待基準①～④のスキッパー、クルーは入学4年以内の大学生。2 名まで、U25(大会開催月末時点25歳未満)のOBクルーの乗艇を認める。その2名クルーの年齢制限は大会実行委員会への事前の申し入れにより緩和して認める場合がある。部外者のクルーも認めるが、チーム名は主体となる大学名とすること。
- (c) 一般公募チームの年齢は上記(b)と同じであるが、スキッパーが大学生でない場合は U25 であること。チームに主体となる大学がある場合は大学名をチーム名とすること。事前の申し入れにより固有のチーム名も認める。
- (d) 1 チームとして**選手の登録**に人数制限はない。**レース中の乗員は4～5 名**。(f)の制限体重以内であれば乗員は交代することができる。ただし、2 レース目以降の乗艇人数は最初のレースに乗艇した人数より多くても少なくともいけない。
- (e) クルーを交代する場合は、事前にレース委員会に申告し、許可を得なければならない。また、クルーの交代のために要する時間はスタート時刻延期の要望対象とはならない。
- (f) 乗員の合計体重は**350kg 以内**でなければならない。体重測定は、最低限シャツとショーツ(ブリーフ)を着用した状態で行う。また、測定体重は、誤差分として体重計の表示から 0.2kgを差し引いたものとし、チームの合計体重は小数点以下を切り捨てるものとする。
- (g) 全ての乗員の服装は、通常レース中に使用されるもののみとし、ウエイトバッグなど通常の体重を明らかに変化させる道具等を使用してはならない。
- (h) 登録されたスキッパーが大会を継続することができなくなったとき、レース委員会はオリジナルクルーメンバーからの交代を認めることができる。
- (i) 登録されたクルーが大会を継続することができなくなったとき、レース委員会は交代選手、一時的な交代、その他の調整方法を認めることができる。
- (j) **未成年者(3月14日時点で満20歳未満の者)は、保護者の同意書(署名、捺印が必要)を大会初日の受付時に提出しなければならない。**

10. イベント・フォーマット

対戦方式、対戦表は大会の一週間前頃に発表する予定である。(ラウンドロビン(総当り)と決勝を予定している。)
なお、帆走指示書(S I)は2月末頃にJYMAのウェブサイトに掲示する予定である。

11. コース

- (a) . コースは「スタート→風上マーク→風下マーク→風上マーク→フィニッシュ」とする。風上マークおよび風下マークはスターボード・サイドに見て回らなければならない。コースは状況により短縮されることがある。この場合は「スタート→風上マーク→フィニッシュ」の1周とする。風上マークでフィニッシュは行わない。(マッチレースではレース海面に航行禁止区域、観覧艇、他障害物が存在する場合がある。)
- (b) コース海面は日産マリーナ東海の沿岸に設定する予定である。

12. 広告

- (a) 競技艇と装備を主催者が提供するので、ISAF レギュレーション 20.4.2 を適用する。各競技艇は主催者によって提供される広告を表示するよう求められることがある。
- (b) 競技者は開催地の陸上では個人広告を表示することが許されることがあるが、これは実行委員会との個別交渉による。
- (c) 広告に関するルール違反は、艇による抗議の対象とはならない(RRS60.1 の変更)。

13. 成績と賞

優勝チームにはJYMA賞を贈る。 JYMAホームページ全日本歴代勝者リストに1～6位のチーム名を掲載し栄誉を讃える。

<http://www.matchrace.gr.jp/winners.html>

海外レースオーガナイザーからJYMAにユース選手の招待状が届いた場合、本大会の成績を参考として推薦し、支援する。

実行委員会は、競技者の不品行、あるいは公式行事への出席を含むリーズナブルな要求に応じることの拒否に対して、賞を減じることができる。

14. メディア、映像および音響

実行委員会はビデオクルーとその装備(またはダミー)を、レース中搭載することを求めることができる。また競技者にインタビューに応じることを求めることができる。また実行委員会は大会期間中に採集されたすべての映像、音響を無償で使用する権利を有する。

15. 請求の否認

大会に参加するすべての者は、自己の責任で参加している。実行委員会、その提携者および実行委員会より任命を受けた者は、原因が何であれ、損害、損傷、負傷または被った不都合に対する一切の責任を否認する。

16. 行動基準と大会運営の補助

16.1 行動基準と選手の義務

- (a) 競技者は、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力を含み、競技役員からのリーズナブルな要求に応じなければならない。また大会の名誉を傷つけるような行動をしてはならない。
- (b) 競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SI アペンディックス C と D に従わなければならない。

16.2 参加選手は可能な限り大会運営の補助をしなければならない。

17. ダメージの取り扱い基準

- 17.1 以下のアイテムの紛失は理由のいかんに関わらず当該艇の責任として、記載の金額を請求する。
 ・ウインチハンドル:15,000 円/1 本 ・抗議旗(Y 旗):5,000 円/1 本 ・識別旗、B 旗、損傷旗:各 3,000 円/1 枚
- 17.2 今回使用されるレース艇が加入する艇体保険の免責額は 1 艇につき 100,000 円である。免責額内のダメージ補修費用は、当事者負担となる。この金額(100,000 円)は 1 事故につきスキッパーが負担しなければならない上限でない場合がある。
- 17.3 帆走指示書アペンディックス C(ハンドリング・オブ・ボーツ)に違反した結果、生じたダメージは艇体保険適用の対象とはならない。当事者の負担である。
- 17.4 他艇との接触によって生じた、艇体、セイル、艀装その他備品のダメージは、その保険免責額内の修理費用を当事者間で負担するものとする。その負担割合は原則として当事者間の協議によるものとするが、当事者から要請があった場合、実行委員会はプロテスト委員会のアドバイスを受けて、以下の割合によって分担することを勧告する。
 <権利艇・非権利艇が特定できる場合> 権利艇 2 非権利艇 8 <権利艇・非権利艇が特定できない場合> 当事者間で均等割りとする。
- 17.5 前項に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後すぐに、遅くとも 30 分以内にコンディション・レポートの他に別書式のダメージ・レポートをレース委員会に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。
- 17.6 大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、レース委員会はダメージの修理が完了するまでの間、そのスキッパーの成績を不戦敗とする場合がある。

18. インビテーション・リクエスト

本大会には招待されたスキッパーのみが参加できる。
 招待状を得ていないチームで出場を希望するスキッパーは、別紙のインビテーションリクエストフォームに必要事項を記入し、**11月30日**までに実行委員長/田代宛<<tashiro@matchrace.gr.jp>>にメールで送付し、招待要請の登録をすること。

19. エントリーの申し込み先 及び 問合せ

JYMA/実行委員長(エントリー関係): 田代和史 携帯電話080-6708-2580 e-mail: tashiro@matchrace.gr.jp
 日産マリーナ東海/実行委員: 渡邊大志(職場電話0563-62-4511 携帯電話090-5032-8663) e-mail: daishi.watanabe@nm-tokai.com

作成日: **2014 年 3 月 2 日** Version 1.2

<インフォメーション>

- (1)宿泊
 本大会への特別なご協力で、西浦温泉旅館『富士見荘』1泊(朝食付き)3,500 円/1人で1チーム1部屋(5名定員)利用できます。男女別部屋、少ない方は相部屋となります。
<http://www.fujimisou.co.jp/>
 大会会場へは専用バスの送迎あり、途中コンビニエンスストアに立ち寄ります。旅館からマリーナへの所要時間は約15分。宿泊担当代表者から直接フロントへ、電話してチーム名と全員の氏名を告げて予約して下さい。
- (2)アクセス…当日の朝、集合も可能 (東京発 8,790 円、大阪発 7,010 円、博多発 7,540 円、仙台 7,840 円 各種割引を含まない正規料金)
 ■東京 6:26 発(ひかり 501 号)豊橋 8:06 着 /豊橋 8:06 発(東海道線)蒲郡 8:23 着 /蒲郡 8:41 発(名鉄蒲郡線)こどもの国 8:53 着
 ■新大阪 6:47 発(のぞみ 208 号)名古屋 7:39 着 /名古屋 7:47 発(東海道線)蒲郡着 8:28 / 同上
 ■博多駅 前日の 19:50 発(高速バス)名古屋 7:40 着(7:00 着もある) / 同上
 ■仙台駅 前日の 21:30 発(高速バス)名古屋 7:30 着 / 同上 注:上記ダイヤは第 1 回 2012 年 3 月の例
 乗用車による来場も可。マリーナの駐車料金は無償にさせていただいております。
- (3)忘れず持参するもの…各チーム1名以上、小型船舶免許証。健康保健証。身体ダメージ軽減の為、グローブと帽子。ラバーボートでの長時間の海上待機にも耐えられるウェアと防寒グッズ。JSAF 会員証、JYMA 年会費振込証票。各チームはクルー道具(プライヤー、ドライバー、ビニールテープ、補修シールなどのSI許可品)一式と、落水時に備えた着替え一人分を海上に持ち込むことを推奨します。
- (4)ドレスコードほか…ライフジャケット(膨張式でないもの)を、持参すること。
 海上・陸上においても服装は出来るだけ見栄え良くチーム統一を願います。部旗は不要(陸上ではノーサイド)です。海上では主催者がスターンパルピット又はバックステーに各チームの識別フラッグを用意する。メディアの取材、撮影には快く協力をお願いします。
- (5)昼食…より多くのレースをこなす為、選手・運営役員にお弁当の配布やランチタイムの設定はおこないません。
昼食は各自、持ち込んで下さい。
- (6)マリーナでのマナー…日産マリーナ東海は公共施設ではありません。オーナーとその関係者の為の施設です。バッグ等、私物の整理整頓に注意して、オーナー関係者には明るい挨拶と、使わせて頂いている感謝の気持ちでコミュニケーションして下さい。
 もちろん、マリーナ職員一同はホストとして皆さんの来場を大歓迎しております。存分にお楽しみください。 以上

レース公示の修正 # 1

Amendment # 1

レース公示 Ver 1.1 (初版) を Ver1.2 として次のように修正した。修正部分は赤文字で記載している。

1. 第1項 主催団体等

追加、修正を行った。

2. 第4項 予定プログラム

Day1 9:00 受付／体重測定(乗員4名～5名 合計体重 350kg 以下)、
9:30 スキッパーズミーティング
10:00 レース艇ドックアウト
10:30 第1マッチ注意信号



Day1 8:00 受付／体重測定(乗員4名～5名、合計体重 350kg 以下) 開始
完了次第(目安 9:00 頃から)スキッパーズミーティング
9:30 レース艇ドックアウト
10:30 第1マッチ注意信号

3. 第8項 競技艇とセイル

(a) 本大会はJ/24クラス艇を使用する。



(a) 本大会はJ/24**タイプ**艇を使用する。

4. 第9項 乗員スキッパーを含む

(d) 1チームとして登録できる乗員の人数制限はない。(f)の制限体重以内であれば乗員は交代することができる。ただし、2レース目以降の乗艇人数は最初のレースに乗艇した人数より多くても少なくてもいけない。



(d) 1チームとして**選手の登録**に人数制限はない。**レース中の乗員は4～5名**。(f)の制限体重以内であれば乗員は交代することができる。ただし、2レース目以降の乗艇人数は最初のレースに乗艇した人数より多くても少なくてもいけない。

そのほか末尾の <インフォメーション> を下記の通り変更している。

- ・ (1) 宿泊先を『三河湾リゾートリンクス』から『富士見荘』に変更した。
- ・ (6) マリーナでのマナーを追加した。

2014年3月2日
実行委員長 田代和史